

どう活かす

107億円

予算に対する

質疑

## 問 新町における新規事業の取り扱いは

—— 渡邊俊徳議員

**Q** 新年度予算は、基本的に新町建設計画にもとづく事業予算となっている。

新町建設にあてるための財源を十年間で一〇七億円と推計され、旧町村別に配分し、その配分額にもとづき、新町建設計画が策定された。

しかし、財源枠の関係で取り残された事業も多くある。

これ等の事業を行うとするなら、建設計画の変更もあり得るのか。

また事業費は、配分された枠内であるのか。旧町村における新町建設計画以外に、新町とし

て建設の必要な事業の取り扱いはどのようにされるのか。

**A** 町長

基本的には、旧町村における新町建設計画にもとづく事業推進をする。

計画された以外の事業については、旧町村に配

分された事業費の枠内であり、事業計画変更、差し替え等については十分検討の必要がある。

また、新町としての必要な事業の発生については、その時点において、ケースバイケースで取り扱う。



農動員で字刈り作業

## 問 中山間交付金の早期支払いを

—— 瀬尾征爾議員

**Q** 過去五年の交付金の支払いは二年前後であった。八月には草刈り等検査が済むので、直ちに支払うべきではないか。

特に共同分の二については額も大きく立て替え運用ができず、共同事業ができないではないか。

この事業は通年事業

**A** 産業課長

この事業は通年事業

で県の指示もあり二年前後の支払いとなっていた。早期支払いの要望も多く、新年度からは概算払い方式を取り入れ、検査後早目に支払いたい。

①電気牧柵事業に共同設置に対する補助がない。補助率を上げてでも推進することが事

**Q** 補助金交付要綱の中、

①電気牧柵事業に共同設置に対する補助がない。補助率を上げてでも推進することが事

業の効果、財政的効率を上げることにならないか。

②共同機械購入で十万円以上は今どき対象が小さ過ぎるのではないか。

③反面、補助率三〇%で二百万円限度額では自己負担が多すぎるのではないか。

**A** 産業課長

①と②については検討

討の余地があると思う。③については今のところの率、限度額でやりたい。

**Q** 飲料水供給施設事業の定義があいまいだ。定義を明確にし、該当施設について、町営移管への意向を把握すべきではないか。

**A** 環境衛生課長

意向を調査し、移管希望地域には十分対応したい。



町道池木豊松線

## 問 委託料の算定基礎を明確にー小林 貢議員

**Q** 委託料は旧町村間の調整が主で適正かどうか疑問である。見直しの必要は。

**A** 町長

時代に合った見直しは当然だ。経営経費であり節減したい。

**Q** 旧町村二千五百万円の、ふれあい事業費の使途が不明瞭であり、

**Q** ホテルの月額貸付料百六十八万円の算定根拠は、納入が四月・八

各地域とも、暗中横索の実態だ。それぞれの地域に提示できる十分な検討を。

**A** 今年度、事業の整合性等、支所長と会議をし、十八年度には皆さんの満足度の高い運用をして行きたい。

月なのは何故か。  
**A** 助役  
金額は、稼働率三六〇三七%の経営窮地時関係者が検討された結果、この額なら出せるとい判断だろうと思う。納期についても契約の中で決めてあり、踏襲している。

**Q** そんな説明では適正かどうか納得できない。

**A** 助役  
納得して頂くしかない。

**Q** 現在の基金では、ホテルの施設修理に値する額ではない。

**A** 助役  
修繕は当面ないと聞いていますし、災害等は保費で対応できる。

## 問 広域行政推進経費の内訳はー村上克朗議員

**Q** 合併により町村の区域が変わって来ている。広域行政の負担金の範囲は。

**A** 企画課長

共通の目的を持って福山、府中と連携して広域行政を進めている。

電源立地関係町村で、国へ補助金の増額を求めて、運動している。

**Q** 農産物販売等、農業関連施設の施設管理

委託料などの補助基準は決まっているのか。

**A** 産業課長

販売実績も上がっており、販売収益で対応し、独立採算をお願いしている。

公社の運営が妥当かどうか、検討しながら基準を決めて行く。

**Q** 患者輸送事業を業務委託で対応している。その内容は。

**A** 福祉保健課長  
現在は、二台の車両で行っている。

大型車については月曜から金曜日まで時安・阿下・父木野・大矢・下井間に運行している。

小型車は、坂瀬川を水曜日に運行、小型輸送については患者輸送と、学童保育の高蓋小学校・来見小学校の送迎バスに利用している。

**Q** 運行していない日に路線を拡大してほしい。土曜日に保育園の送迎ができないのか。

**A** 福祉課長  
運行については検討する。



どんぐり幼稚園卒園式



ウインズコートホテル

## 問 電算システムの変更による支障は—松本彰夫議員

**Q** 電算システムの変更による支障が多い。職員の間外が多いのもこれが影響しているのではないか。

**A** 委託先の両備システムに損害請求はできないのか。

**Q** 企画課長 確かに変更による支障が出ている。システムが間違っているのではなく、プログラムのミスが

ある。

道義的な責任で協議する。今後個人情報などの入力もあるので、形を変えての補償を求める。

**Q** 本庁、支所を結ぶ道路の改良に取り組み

べきだ。油木、豊松支所と本庁を結ぶために、国道一八二号線と県道吉舎油木線の改良を急ぐべきだ。長者ヶ原トンネルは

オープンカットで改良するよう県に働きかけて欲しい。

**A** 建設課長 早期の改良に努めた

い。県道については、平成十六年度に測量が終わって、路線の検討に入る予定である。

**Q** 生きがい型ITサイービスは旧町村ことに

方法が違う。サービスの内容、単価など統一すべきではないか。

**A** 保健福祉課長 この事業は、今までの方法で計画している

が、各地域で行うのが望ましいと思う。サービスの統一に向けて検討する。



自治振興会長会議

**A** 助役 将来的には、問題点、疑問点もあるのでよく協

## 問 ふれあい事業の取り組みは—木野山孝志議員

**Q** ふれあい事業について見直しと言われるが、合併前の四町村の地域性、独自性にあふれた豊かな活力ある地域づく

りのための「住民の「夢」をのせた重点的施策である。初期の目的が達成されるよう長期にわたって事業展開をすべきだ。

**A** 助役

将来的には、問題点、疑問点もあるのでよく協

議して頂き、四地域のために「夢」の部分は整理してさらに中身の濃いものにする。

**Q** 補助事業団体に対する事務の取り扱い、基本的はどう考えるか。

**A** 助役 基本的には補助団体の事務はの中で事務を

やるべき行政サービスは低下しないよう実施すべきだ。



庁舎内見学

お願いする。旧四町村で中身が違うので整理を行い、出来るだけ運営のお手伝いが出来る方向で解決を図りたい。

**Q** 観光協会についても基本的に出来る事は観光協会で行って頂きたい。人的予算を軸に本所の商工観光係と連携をとりながら実施して欲しい。

**A** 商工費は歳出予算全体の七、四%、公園

費を除くと三、七%しかない。まちの活性化には商工業者の発展が必要だ。商工業後継者支援や商工会青年部活動への補助は旧町村時代と同じく確保されているか。

**A** 産業課長 青年部等の活動は商工会育成支援事業の商工会運営補助金で対応している。

## 問 今後の財政運営は

佐伯卓師議員

**Q** 財政調整基金を取り崩している。今後の財政運営に不安はないのか。

**A** 総務課長  
まだ何名配置されるかわからないが、適正に配置されるよう努力する。

**A** 助役  
本年は止むを得ず繰り入れたが、今後は積み立てるよう努力する。

**Q** 地区公民館や主事の配置など一貫性がなく不公平だ。

**A** 生涯学習課長  
また、自治振興会との関連も不透明だ。生涯学習課長  
不公平は認識してお

**Q** 高規格救急車の導入が計画されたため、適切な救急救命士の配置を。

**A** 産業課長  
本町のPRにつながるよう努力する。

り、十七年度中に検討し、見直す。

**Q** 帝釈峡・神竜湖が東城町と報道されることが多い、半分は神石高原町であり、観光振興のため本町名も列記・報道されるよう対応すべきだ。



帝釈峡

## 問 学校給食に地元産食材を——赤木健二議員

**Q** 地域の宝とも言われる子供たちの、三食の内一食を賄う小・中学校の給食材料に、地元で生産した農産物を利用しては。

る業者もあるが、学校給食会の米が安価であり調整している。

**Q** 少しでも安全と安心を配慮し、地域の皆さんの顔が見えて、田畑が見える関係を健全育成の上から進めてはどうか。

**Q** 価格の問題よりも安全性ではないか。  
農協や百彩館、182ステーション・自治振興会などと協議して進めるべきでは。

**A** 教育長  
今、地元の業者と協議中、地元産米を扱え

**A** 教育長  
検討してみる。

### ことばの豆辞典

#### ふるさとふれあい事業

合併前の四町村の持つ地域性、独自性にあふれ、ふれあい豊かな地域を維持、発展させ、活力ある地域づくりを進めるために必要な事業を「神石高原町ふるさとふれあい事業」として実施します。  
【事業の概要】

- ふるさとふれあい事業基金十億円を設置し、支所ごとに、一年に二千五百万円の事業を十年間実施する。
- 執行については、町長が地域審議会の意見を参考に決定するものとし、各種団体等が行うまちづくり、人づくり、ものづくり事業への助成等の財源とする。



英会話教室（三和地域）

**A** 教育長  
今、地元の業者と協議中、地元産米を扱え

**A** 教育長  
検討してみる。

## 問 町主催のイベントは——久保田龍泉議員

**Q** 旧町村で行っていたイベントは、これま  
で通り各支所で行われ  
ようだ。これでは町の一  
体性がない。町主催のイ  
ベントは何故計画されな  
いか。

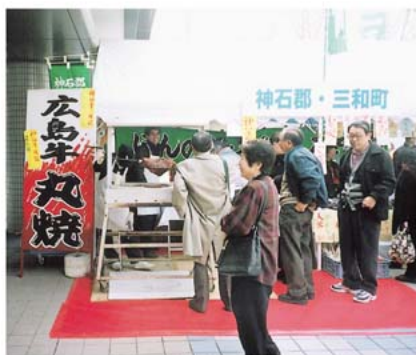
**A** 企画課長  
開町式典の中で、町  
民交流の場としてイベン  
トを企画していたが理解  
されず、断念せざるを得  
ないのかという思いです。

**Q** 公民館長と主事の報  
酬が違っている。同  
じ公民館活動であり、格  
差があるのはおかしい。  
公民館の位置づけにつ  
いて早急に見直す必要が  
あるのでは。

**A** 生涯学習課長  
社会教育委員の意見  
も聞きながら、公民館と  
しての方針を十七年度で  
つくっていく。

**Q** 公民館長と主事の報  
酬が違っている。同  
じ公民館活動であり、格  
差があるのはおかしい。  
公民館の位置づけにつ  
いて早急に見直す必要が  
あるのでは。

**A** 生涯学習課長  
社会教育委員の意見  
も聞きながら、公民館と  
しての方針を十七年度で  
つくっていく。



フードフェスタ

**Q** ふれあい事業では、  
各旧町村単位で均等  
に二千五百円交付する  
ことになっている。一人  
あたりの格差が二倍を超  
えているが見直しが必要  
ではないか。

**A** 企画課長  
県の交付算定基準が  
一町村あたりであるため  
そのようになっている。  
見直しは行わない。

## 問 ふれあい事業は——小川清治議員

**Q** 予算大綱に職員採用  
とあるが今年度の採  
用は。

**A** 助役  
今年度は、県北情報  
センターの廃止による  
協議で三月三十一日付け  
で、同所から二名の職員  
を受け入れる事になっ  
ており、一般採用は行わ  
ない。



## 議会広報広聴調査 特別委員会が

### 視察研修

神石高原町議会広  
報広聴調査特別委員  
は、二月二十五日鳥  
取県日吉津村議会に先  
進地の研修に行きまし  
た。

日吉津村は、米  
子市に隣接した人口  
三千四百人余りの村で  
すが、町村合併をせず  
に単独村制で行く事を  
決定しています。

般にわたって熱心に学  
習、意見交換を行いま  
した。  
広報委員会は、この  
研修の成果を今後の広  
報づくりに役立てたい  
と思います。

議員定数は十名で、  
十五年度の一般会計決  
算額は、十六億三千二  
百万円余です。

議会広報は、鳥取県  
町村議会広報コンク  
ールで常に優秀賞を受賞  
されており、熱心に広  
報活動に取り組んでお  
られます。  
議長以下五名の広  
報委員が対応して下さ  
り、広報づくりをはじめ、合併問題や行政全

